

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|----|---|------|---------------|------|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 100 | | | クールダウンする必要があるときは、相談室や事務室などを利用している。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 100 | | | 配置数のほか障害特性に応じた専門職を配置出来ている。岐阜県の基準に従って運営している。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 100 | | | 現在通っている利用者には適切である |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 71 | 28.4 | | 定期的ミーティングを行い確認している |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 100 | | | 評価表を基に職員で改善点を話し合いその子にあった支援に繋げていく。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 100 | | | HPIにて掲載しています |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 71 | 14.2 | 14.2 | 内部評価は公開療育などを行っているが外部評価が出来ていないので今後検討していきたい。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 100 | | | 今は、オンライン研修や内部研修を行っている。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 100 | | | 児童の日々の様子や保護者のニーズ課題を分析して計画書を作成している |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 85.2 | 14.2 | | アセスメントツールを使用し適応行動の把握に努めている |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 100 | | | 活動プログラムの内容は毎月スタッフ会議で意見を出し合い決定している。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 100 | | | 活動プログラムが固定化しないよう、また子供たちが色々な経験を詰めるように意見を出し合い検討している |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 100 | | | 休日・休暇はコロナの状況を見ながら活動を考えるようにしている。また、室内でも様々な経験ができるように工夫している。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 100 | | | 年齢層に応じた対応を心がけている。実際、職員体制などで個別が難しい面もある。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 100 | | | 当日の支援前に必ずミーティングを行い共通意識を持って取り組んでいる。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 85.2 | 14.2 | | 送迎の関係で当日の振り返りが難しいため、各自が記録し、翌日の午前中に行っている。 |

| | チェック項目 | はい | どちらもし いいない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----|--|------|---------------|-----|---------------------------------|
| 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 85.2 | 14.2 | | 連絡帳や活動記録に記入し支援計画のモニタリングに活かしている。 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいえ | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|--------------|----|--|------|--------------|------|---|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 100 | | | 半年ごとのモニタリングで成長過程に合わせて支援計画の見直しを行っている。担当者会議も同時に行っている。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 100 | | | ガイドラインを意識して実施している |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 71 | 28.4 | | 児童発達支援管理責任者が参画している |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 100 | | | 送迎時や連絡帳。LINE 月間利用表等で行っている |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 14.2 | 85.2 | | 該当の子供がいない為、該当なし |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 14.2 | 85.2 | | 今後行っていけるように検討していく |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 14.2 | 85.2 | | 該当なし |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 42.6 | 56.8 | | 該当なし |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 14.2 | 14.2 | 71 | 状況が落ち着いたら機会を増やしていきたい |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 14.2 | 60.8 | 28.4 | コロナ渦の中なので開催されていない |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 100 | | | 送迎時や連絡帳・電話で情報共有を行っている。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 14.2 | 71 | 14.2 | 口頭で助言などはしているが、保護者会等を行えていない。 |
| 保護者への説明 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 100 | | | 利用を開始する際に丁寧に説明している |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 85.2 | 14.2 | | 送迎時・電話・LINE・面談等で助言などを行っている。(コロナ渦なので面談は控えている。) |

| | | チェック項目 | はい | どちらもし いいない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|----|---|----|---------------|------|--------------------------------------|
| 責 任 等 | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 60.8 | 42.6 | 以前は半年に1度保護者会を実施していたが、コロナ渦中のため行っていない。 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいえ | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|---------|----|---|-----|--------------|-----|---|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 100 | | | 苦情目安箱が設置してある 無記名の苦情に対するアンケート等を実施し対応している |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 100 | | | 毎月お便りを配布。ブログ発信を行っている |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 100 | | | 職員には雇用契約時に秘密保持契約書に署名、利用者は個人情報契約書を交わしている。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 100 | | | 保護者には連絡帳・LINEにてその日の様子を知らせている。児童との情報伝達については個々の特性を配慮し行っている。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | 100 | 月に一度、地域の高齢者を招いて活動を行っていたが、現在は休止している。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 100 | | | 各マニュアルを作成し職員で周知した後年1度保護者へ配布している。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 100 | | | 避難訓練は基本年1度、消防署の指導の下行っているが、コロナ渦中で活動の中に組み入れ事業所独自で行っている |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 100 | | | 虐待防止委員会を設置した。月1回の虐待チェック表、また外部研修に参加し各自意識を持って取り組んでいる。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 100 | | | 身体拘束の可能性のある利用者に対しては保護者に口頭で説明し、同意書を頂いている。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 100 | | | 契約時と変化のあった場合の報告と確認を随時行っている。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 100 | | | 職員内で話し合い、共有しそこから学んだ事からより良い支援に繋がるようにしている |